

広東省・広州市・深セン市・福建省・広西チワン族自治区・海南省週報

2019年2月25日～3月3日

I. 広東省

1 2018年の自動車生産量は広東省が全国トップ

●26日の国家統計局の発表によれば、広東省で2018年に製造された自動車台数は、321.58万台で全国トップだった。前年比7.4%増だった。また、統計によれば、広汽本田の1月の販売台数は73,617台で前年同月比1.61%増、広汽トヨタの1月の販売台数は79,700台で前年同月比74.82%増だった（27日付「南方日報」12面）。

2 広東省の人口は微増

●広東省統計局の発表によれば、2018年末の広東省の常住人口は1億1,346万人で前年同比177万人増加した。常住人口のうち、都市人口は8,021.62万人（70.7%）、農村人口は3,324.38万人（29.3%）だった。出生数は143.98万人だった（27日付「南方日報」13面）。

（当館注1）中国国家統計局の発表によれば、2018年の中国の出生数は1,523万人。

（当館注2）厚生労働省の発表によれば、2018年の日本の出生数は92万1,000人。

3 広東省の人事異動

●このほど、中央の批准を経て、張義珍氏を広東省党委員会委員兼常務委員に任命し、中央組織部の同意を経て、省党委員会は、張義珍氏を広東省党委組織部部長にすることを決定した（28日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 2月の広州市のナンバープレート平均取引成約価格は36,240元

●2月の広州市のナンバープレート競売結果が公表され、個人用のナンバープレートの最低取引成約価格は33,000元、平均取引成約価格は36,240円で先月比で約3,000元下落した。業務用ナンバープレートの最低取引成約価格は47,800元で、平均取引成約価格は52,206円で先月比で約1,000元下落した（26日付「広州日報」15面）。

2 張碩輔・広州市党委書記が座談会を開催

●1日、広州ハイテク産業開発区、広州経済技術開発区、黄埔区が大型プロジ

エクトー齊開始イベントが開催され、張碩輔・広州市党委書記がイベントに出席した関係者らと座談会を行った。王晓東・百済神州連合創始者、馬睿思・P & G大中華区董事長兼総裁、嵇世山・清華大学副秘書長兼清華珠江デルタ研究院院長、周亜偉・黄浦区党委書記、潘建国・広州市秘書長、姚建明・広州市市場監督管理局局長が座談会に参加した。張碩輔・市党委書記は、広東・香港・マカオビッグベイエリア発展計画要綱を着実に実行し、ビジネス環境の改善を行い、世界中から科学技術、産業、人材等のハイエンド資源を集め、広東・香港・マカオビッグベイエリア地域発展の更なる原動力を一層発揮すると述べた。また、企業家、科学者、投資家がチャンスを探り、広州の発展や広州への良質なサービスの保障を提供してほしいと述べた。王晓東・百済神州連合創始者は、百済は広東・香港・マカオビッグベイエリア建設のチャンスをしっかり探り、広州の質の高い発展に協力したいと述べた（2日付「広州日報」1面）。

III. 深セン市

1 ファーウェイが折りたたみ5Gスマホを発表

●24日、深セン市に本社を置くファーウェイが、スペインのバルセロナで行われた「MWC（モバイル・ワールド・コンGRES）」の開幕前日に自社イベントを開催し、折りたたみ5Gスマホ「Mate X」を発表した。価格は2,299ユーロ（約17,500人民元、約29万円）で、早ければ6月に発売する。折りたたんだ状態では表面が6.6インチ、広げた状態では8インチとなる。30分の充電で85%の充電が可能（25日付「南方日報」6面）。

IV. 福建省

1 福建省の人口は微増

●福建省統計局の発表によれば、2018年末の福建省の常住人口は3,941.1万人で前年同比30万人増加した。常住人口のうち、都市人口は2,594万人（65.8%）だった。出生数は52万人だった。戸籍人口は3,861.3万人で前年同比53.7万人増（28日付「福建日報」4面）。

V. 広西チワン族自治区

特になし。

VI. 海南省

特になし。